

子育て支援

協力会員になって感じたこと

砂川 弘子

今日もオリガさんからメールが届いていた「砂川さん、12月24日〜12月30日にモスクワ出張になりそうですが、ご都合を教えてくださいか、お願いします。アナスタシアのママオリガ。」平成20年11月11日、砂川の携帯電話に着信メール有り。アナスタシアは保育園の5才児組に在園している女児です。母親の了解でなっちゃんと呼んでいます。

その母親のオリガさんは30代でロシア生まれロシア育ちのロシア人です。ロシアの大学院を卒業されて来日し、名古屋大学で研究生として過ごされ、なっちゃんの父親と結婚されましたが、今は一人親でなっちゃんを育てているバリバリのキャリアウーマンです。（以後、なっちゃんはNと記しオリガさんはOと記入致します。）

「砂川さん、年末の出張ですが、12月24日木曜日夜、成田発、12月31日水曜日朝成田着と決まりました。その間12月24日～27日迄は保育園に平常保育で預けて下さい。28日29日30日は24時間預かる事が必要となります。31日の朝成田に着きますのでお昼頃の迎えになります。一部ロシアの友人が出来る日があるかも知れません。お願いします。」12月19日砂川の携帯電話に受信メール。「Oさん！年末の出張ご苦労様、26日夜のみが都合が悪いのですがどう致しましょうか。他はOKです」12月20日送信メール。

「砂川さん、分りました。ありがとうございます。ロシアの友人がいますので26日はその友人と過ごします。その他にもあれば教えて下さい。24日25日27日は何時に迎えに行きますか。保育園は20時迄預り可能です。明日の午後にはNちゃんの荷物を持って行きたいのですがいらっしゃいますか。Oより」21日の受信メール。「Oさん、心配しないで、いつてらっしゃい！いつでも保育園は9時に送って5時～6時に迎えて、Nちゃんかこんで一緒に夕食は楽しくしています。荷物を届けるのは午前中

が良いですが」メール送信。「砂川さん、明日の午前中は保育園でファミリークッキングがあります。砂川さんは午前中は何時迄がよろしいですか」12月22日受信メール。「では夕方から夜は居ますので、来る前に電話下さい」メール送信。「分りました。では明日23日夕方、夜間に伺います。」メール受信。この様に携帯電話のメールを利用して忙しい中でも意思疎通をきちんと図り年末はNちゃんを預り共に楽しく過した。

12月24日25日は年休をとり預る為の良い環境を整えることにした。24日は家中をきれいに掃除し、Nちゃんの寝具を準備したりした。好物のグラタン、スパゲティをつくった。持ち物を置く場所もつくり遊具も準備した。カルタと絵本はサンタさんに届けてもらうことにした。動いた動いたこの重い体。トイレにも花を飾り手ふきタオルは可愛い物に替えた。Xマスツリーも飾った。

Nちゃんは朝早くから20時迄保育園で過すので母親と夕食を食べる日は日曜日のみの様です。祝日の日中も留守番する事が多い様です。一人親家庭は厳しいみたいです。この働き方は日本の企業が求めているので

仕方ないと言うOさんです。

日頃早く早くとせかされた日々を送っているNちゃんには、ゆったりとした時の流れで見守りながら過すことを心がけた。又対話を大切にしたら。朝食もすっかり食べる。夕食は彼女の好きなピンク色の花柄のエプロンをして手伝ってもらい食育も育むことにした。

Nちゃんもお手伝いは大好きで、自らイスを運んで来て包丁使って野菜を切ったりした。

ばあちゃんは喜んで手伝いをするNちゃんに切り方を教えたり、怪我しない様に見守りながらいつでもより夕食作りは長びいていた。

12月28日はNちゃんの6才の誕生日を迎えた。その日は彼女をしつかり尊厳し慈しんだ誕生日祝いに、好みのメニューを聞き入れたり、やって欲しい事があればかなえてあげることにした。食べたいメニューはハンバークとパンプキンサラダ、コーンスープ、やって欲しい事は自転車の補助車ははずし乗れる様にしてもらうこと。と希望したのでさっそくNちゃんの家に行って自転車を運んで来て、おじいちゃん（私の夫）に

補助車をはずしてもらい空気も入れてきれいに自転車をみがいてもらった。そして私道で、おじいちゃん、おばあちゃんに見守られながら練習した。その日は背中を支えても不安定ですぐ両足を着いてしまう。しかし本人はママが帰る迄には乗れる様になって、ママに見せたいと意欲的である。

天気も良いので午後は公園迄引っぱって行き練習した。しかしブレーキをうまく使えずすぐ両足で止まったりの状態だった。夜は好物のハンバーグづくりをしている私のそばにイスを運んで来てお手伝いがしたいと言うので、手をきれいに洗い花柄のエプロンを身につけさせ、サラダの盛合わせをしてもらった。

するとその感性のすばらしいこと……。一言アドバイスしたら「トマトで赤い花畑・パンプキンサラダでお花畑、ゆで卵で黄色の花畑ねー、ブルッコリーはチョウチョウさん！マヨネーズはNちゃん大好きで花の蜜、蜜は美味しいよ」と一人語りをしながら美しく盛り付けしてくれた。ワアきれーい、上手上手、ステキな花畑だー。おじいちゃんも呼んで大き

な拍手をした。テーブルに並べて3人で乾杯した。Nちゃんがママが帰る迄に自転車に乗れます様に！元気で大きくなります様に！学校へ行くまで自分の名前を書けます様に！と夢や希望を言って何回も乾杯した。本人ははりきってケーキのローソクを一回で消して大喜び。「フウツと一回でローソクを消したのは初めてなの」「何回も乾杯したのも嬉しかった」とこぼれる笑顔を見せながら、お祝いにもらったトランプでゲームがしたいと言い出し3人で数合せゲームをした。自分が勝つ迄何度もつき合わされるじいとはあであった。

29日30日は近所の同年齢の友達もさそって公園に行き、自転車の練習をしたり固定遊具で遊んだりしたので日を重ねる度に上達し、ママが帰る日の午前中はスイスイ乗れる様になった。「ママが帰る日まで乗れる様になりたい！」そう目標持って練習する彼女の姿は輝いていた。

日中は元気いっぱいですが夜中は咳こみがあり、心配なので咳薬を買って飲ませた。初めて飲ませた夜は薬が合わなかったらと不安もありましたが、大丈夫だったので毎食後飲ませたら咳もおさまってきたのでひ

と安心した。28日の夜はOさんからメールがあり、私もメールで様子を知らせた。やはり子どものことは気になっている様だった。

以前Oさんから聞いたのですが、日本の企業は外国人は正社員にはしてもらえない。Oさんも契約社員で大企業で働いているが看護休暇はもちろんないし、出張も断れない。断ったらいつ首になるかわからないと話していた。

自国内でも子育ては大変になっている今日、外国でしかも一人親家庭での子育ての困難はいかばかりかとお察しすると、心から激励しこの家庭を娘と孫として支援していきたいとOさんにも話した。そして要請があれば、体制をとって協力させてもらっている。この親子に縁があった事を喜び、日本人の良い面も知ってもらいながら安心して子育てが出来る様に親育ても心しています。労をねぎらったり励ましの言葉をかけながらアドバイスもして受け入れている。又受け入れられる環境にある事にも感謝している。

自分の子育ての時は両方の両親が沖縄にいた為、お産の時以外は支援

してもらえず大変だったので、Oさんの大変さがよく分る。特に変則勤務の多い公立保育園の保育士だったので、遅番勤務の時に限って3人息子の内誰かが発熱で呼び出しの電話が入る等。

Oさん親子には日本の暖かい家庭を実感してもらいたいので、家にかけてお茶にしたり食事にしたりもしています。Nちゃんの好みのメニュー等は多目につくり、持たせたり届けたりもしています。Oさんも遠慮なくもらってくれるので嬉しい限りです。

日本の企業は外国人には厳しいと言いながらも世界を飛び回って仕事をしているOさんは決して弱音を見せない人ですが、最初にNちゃんを24時間預って欲しいと頼まれた時は私も心配だったので、子育て協力会員を登録してある子育て支援センターに問い合わせた。しかしお泊り保育は保障出来ないので無理との返事でしたのでOさんにそのことを伝えると泣きそうになっていた。しかし安易に受けて何かあった場合は私も困るので、その辺も含めてザックバランに話し合った。私も最善をつくし留意して世話しますが、何か起きた時はOさんの保険で考えていく等納得

してもらい今日に至っています。深く考えると不安は多少ありますが、受けて立っています。私も38年間保育士として又責任者としても多勢の子ども達と接してきましたので、退職後は地域に根ざし子育て困難な家庭を支えて地域に還元していくことが夢でもあるからです。今までは出張の度にメールや電話で相談を受け、極力協力出来る体制を整えて可愛いNちゃんと過ごしています。Nちゃんも喜び、私達夫婦も癒されています。老夫婦だけよりも子どもを預ることで家中が明るく賑わって大変良いと実感しています。

この体験から感じる事は高齢化社会に向け

①核家族で子育て困難な家庭を高齢者が支援出来る様に、各自自治体で組織づくりをしていく。町内会の区長や班長を決める様にある。

②子育て協力会員の家庭を世代を問わずポストの数以上に組織している。

③名簿をつくり、保育園や保健所の検診時に必要と思われる親子には知らせ活用する。

④ 子どもと係り方が苦手な若い世代と経験豊かな高齢者が交流し楽しく過ごす中で共に癒されたり、コミニケーション力を高めていく風作りやお手玉作りが始まり共に輝く。

地域の子は地域皆で育てる認識を深める場、住み良い社会になり、まさに一石二鳥である。